

令和 5 年 8 月 23 日
16 時 50 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番 氏名 小川 稔 宏

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 石見交通路線バス有福線廃止問題について

石見交通路線バス有福線は浜田市・江津市連名で再要望がなされ運行期間が半年延びたものの令和6年3月31日での廃止を決定された。市では代替交通の検討作業を進められるが、この間明らかになった国の制度上の問題点、運行会社と市との連携・協議、さらには利用者や住民自治の観点からの議論も不十分なまま推移しており、何ら問題解決になっていない印象を受ける。今後の地域公共交通のあり方や現在策定中の次期公共交通計画にも影響することからも前定例会議に引き続き有福線廃止問題について質したい。

(1) 有福線廃止に伴う課題解決について

- ①石見交通では運転手確保に努力しているが難しいといわれているが、5人運転手が確保できれば有福線を廃止しなくても済むといわれている現実が今回の問題の核心的な部分である。市として何らかの支援、協力が出来なかったのか、市の認識を含めて伺う。
- ②現行の運行費補助制度ではバス会社にとってメリットが少なく、モチベーションのアップにつながっておらず、何らかのインセンティブが必要と考える。頑張れば報われるような制度への見直しが必要と考えるが市の認識を伺う。
- ③乗務員の確保に関する市の取組として、島根県市長会などを通じ国・県に対し要望している「事業者が実施する労働条件改善への支援」とは具体的にはどのような内容なのか、またそれに対する国・県の対応状況について伺う。

(2) 代替交通への要望と利用促進について

- ①石見交通が撤退しても、市が代替交通を確保すればいいという流れがあり疑問を感じる。民間路線バスが撤退した後は自治体が交通空白地を作らないよう代替交通を検討しなければならないということの法的根拠について伺う。

- ②民間路線の代替交通として生活路線バスを構築する際は、民間路線バスへの影響を考慮し、路線が重複しないよう民間路線バスに接続する場所での乗換が必要になるといわれている。乗り換えなしの直通運行への要望は強いが、その実現可能性について伺う。
- ③バス位置確認システムの導入や車両への AED 設置の設備改善等により安全性・利便性の向上に向けた利用促進策の検討もすべきと考えるが、その場合の支援制度の有無と費用負担の現状について伺う。

2. 学校や自治体での「チャット GPT」利用について

急速に普及しつつある対話型人工知能 (AI) の 1 つである「チャット GPT」について 2023 年 7 月には文部科学省から「生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」の通知が行われている。また、自治体の業務での活用については全庁的に試験導入し積極推進の自治体がある一方で慎重姿勢のもと使用禁止を打ち出している自治体もあるというなかで市の認識を伺う。

- ①文章を書く力は付かず、自分で考えるという学習への姿勢や意欲を見失わせる恐れなど思考能力の低下を懸念されている。読書感想文や夏休みの自由研究等に活用されることも想定されるなか、通知内容が学校現場に行き届くまでには時間を要す部分もあると思うが、児童生徒への注意喚起、保護者への周知の状況について伺う。
- ②「チャット GPT」活用について自治体ごとに温度差があるなかで、浜田市としての対応方針や留意点等の検討状況について伺う。

3. 「石州浜っ子夏まつり」花火大会の在り方について

コロナ 5 類移行により帰省も増え、イベント規制も緩和されるなかで 8 月 5 日に開催された「石州浜っ子夏まつり」の花火大会を楽しみにしていた市民は多かったと思うが、期待外れとの声や苦情を聞いている。その多くは花火打ち上げ数や屋台出店数の少なさを指摘するものである。開催規模、開催要領についていずれ実行委員会、振興会等で検証作業もなされると思うが、現時点での認識を中心に聞きたい。

- ①花火の打ち上げ数はポスター・チラシになく、全国人気花火大会ランキングの中国地方では「石州浜っ子夏まつり」は 51 位で打ち上げ数は「非公開」となっていたが、実際の打ち上げ数、少なかった要因、また公表しなかった理由、出店数の少なかったことなどを含めて事前の周知方法に問題はなかったのか伺う。
- ②荷捌き所建設で従来のような観覧スペースが確保できないこともあり、「石州浜っ子夏まつり」の開催場所の問題も含め見直しの必要もあるのではとの声もあるが、昨年以降の今後の在り方に関してどのような形で検討がなされるのか伺う。